

読む・書く・話すをリンクして、楽しく授業をクリエイト

「いろいろなあそびについて話し合おう」 せかいのかくれんぼ(2年)

主張点

1 本単元で育成する国語力をこうとらえる

話すこと・ 聞くこと	いろいろな遊びについて調べ、工夫して遊び方を説明することができる。
読むこと	2つのかくれんぼについて順序に注意しながら、書かれている内容を正しく読み取ることができる。
書くこと	調べたことをもとに、遊びのメモを作ったり、メモをもとに遊びの紹介カードを書いたりすることができる。

2 本単元の主張点

読む・聞く・話すを関連付け、児童の興味関心をつなぐ単元計画

ア 出合いを仕組む・・・自分たちの遊びと結びつけて教材文に出会わせる。

イ 確かな読みの場を仕組む・・・書かれている内容を表に整理する。

ウ 読んだことを確かめる場をつくる・・・実際にかくれんぼをする体験的活動を取り入れる。

エ 多様な読み・聞き取りの場を仕組む・・・いろいろな遊びについて本や聞き取りなどから調べ、してみたい遊びを選ぶ。

オ 相手意識を持たせた表現活動の場を仕組む。

- ・ 書くこと・・・1年生に分かる遊びの紹介カードの作成

- ・ 話すこと・・・紹介カードをもとに1年生に遊びの紹介

基礎基本の定着

「順序」「主述」「文末」「接続語」に注意して、教材文を読む。

「順序」「主述」「文末」「接続語」を使って、紹介カードを書く。

3 学習指導のポイント

個に応じた指導の工夫

「かくれんぼ」を読み取り、二つを比べて準備物や遊び方について共通点と相違点をワークシートにまとめる。(個に応じたワークシートの選択)

自分の選んだ遊びを紹介しやすいように、「あそびメモ」に書く。そのメモをもとに「あそびのしょうかいカード」を作る。

- ・ 「あそびメモ」は、国の名前・準備するもの・遊ぶ場所・遊び方(順序をあらわす言葉・主語)を書き込む。

- ・ 「あそびのしょうかいカード」は、あそびメモをもとに、調べたあそびについて書く。

(個の書く能力に合わせた3段階のワークシートの選択)

評価のポイント

- ア 単元の評価基準を明確にするとともに、単元の指導計画に評価活動を位置づける。
- イ 学習の振り返りカードやワークシートの「書くときのコツ」による児童の自己評価
- ウ 児童による相互評価 「紹介する遊びカード」

4 単元の展開案

次	時	主な学習活動と児童の意識の流れ	評価基準【重点をおく観点】
第一 次	1	<p>私たちは、いろいろな遊びをしているけど、外国の子どもはどんな遊びをしているのかなあ。</p> <p>1 世界の国々やかくれんぼについて知っていることを話し合う。</p> <p>2 1年生に教えてあげるために、「世界のかくれんぼ」を使って、学習することを確認し、学習計画を立てる。</p> <p>どんな遊びかな。いろいろな国の遊びを調べて、ぼくたちも遊んでみたいな。1年生にも教えてあげよう。</p>	<p>【関・意・態】</p> <p>B： 世界のかくれんぼについて興味をもって文章を読もうとしている。</p> <p>A： 自分の経験や知っているかくれんぼの種類などについて進んで発表し、学習に意欲的に取り組んでいる。</p> <p><発表の様子，ノートへの記述・内容の把握></p>
第二 次	2 3	<p>1 教材「せかいのかくれんぼ」を一読する。</p> <p>2 教材文の構成をおおまかにとらえ、いろいろな国のかくれんぼについて書かれていることの大体を知る。</p> <p>3 日本の缶けりの遊び方を話し合い、共通理解する。</p> <p>準備するもの 遊び方</p> <p>日本の缶けりとどんなにちがうのかな。フィンランドのかくれんぼやインドネシアのかくれんぼのことを詳しく知りたいな。</p>	<p>【読む】</p> <p>B： 挿絵と書かれている内容を結びつけて教材文を分け、それぞれのまとまりがどんな内容かをとらえることができる。</p> <p>A： かくれんぼの遊び方を分かりやすく説明するための表し方に気付き、進んで考えようとしている。</p> <p><発表の様子，ノートへの記述・内容の把握></p>

	4 5	<p>1 形式段落3～7を読み，フィンランドのかくれんぼ「ハンター」について，準備するものや，遊び方を読み取る。</p> <p>2 形式段落8～10段落を読み，インドネシアのかくれんぼ「プンタックウンプット」について，準備するものや，遊び方を読み取る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>日本の缶けりと比べると，同じところもあるし，違うところもあっておもしろいなあ。フィンランドとインドネシアも，またちがうなあ。</p> </div>	<p>【読む】</p> <p>B： フィンランドのかくれんぼについて，準備するものや遊び方について，順序を表す言葉を手がかりに読み取る。</p> <p>A： Bに加えて，日本の缶けりとの違いを説明しながら，共通点や相違を観点にそって読み取る。</p> <p><発表の様子，ワークシートへの記述・内容の把握></p>
本時	6	<p>1 フィンランドとインドネシアのかくれんぼを比べて，準備や遊び方について共通点と相違点を読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>同じかくれんぼでも，ずいぶんちがうなあ。でも，同じところもいっぱい見つかったよ。遊んでみたいなあ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>他教科との関連（学級活動などで）</p> <p>フィンランドのかくれんぼやインドネシアのかくれんぼについて読み取ったことをもとに，自分たちが遊んでみる。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>こんなおもしろい遊び，他にもあるかなあ。他の国のことも調べて1年生に教えてあげて一緒に遊びたいなあ。</p> </div>	<p>【読む】</p> <p>B： フィンランドとインドネシアのかくれんぼについて，準備するものと遊び方（おにと隠れる側の人に分けてすることの違いや共通点）について対比しながら，表に整理する。</p> <p>A： 時間的な順序や事柄の順序を考えながら，2つの遊びの相違点や共通点を進んで表に整理し，説明する。</p> <p><発表の様子，ワークシート1（A・B）への記述・内容の把握></p>
第三次	7	<p>1 いろいろな遊びの調べをもとに，遊びのメモを作ったり，メモをもとにした遊びの紹介カードを作ったりすることを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミスターライオンを書こう。 ・ の国の遊びを調べて書こう。 </div> <p>2 自分の決めた遊びのメモの作り方を確認し，メモを書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>遊びの順に気をつけて，遊びのメモを作ろう。</p> </div>	<p>【書く】</p> <p>B： ワークシートに遊びのメモを書く。順序をあらわすことばを使って遊び方を書く。（ワークシート2を活用）</p> <p>A： まとまりごとに順序をあらわすことばを使って，「おに」と「その他の人」に分けて書く。（ワークシート2）</p>

		<p>遊びの名前 国の名前 準備するもの 遊ぶ場所 遊び方</p> <p>3 友達同士で確認しあう。</p>	
--	--	--	--

第三次	8 本時	<p>1 紹介メモをもとに、遊びの紹介カードを書く。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">1年生によくわかるように、遊びの紹介カードを書こう。</p> <p>2 自分の決めた紹介カードを書く。 紹介カードの書き方のコツを確認する。 遊びの順番で 順序を表すことば 主語・述語 文末 各自書く。</p> <p>3 自分の紹介カードを見直す。 (チェックカードで自己評価・修正)</p> <p>4 紹介カードを修正し、練習する。</p>	<p>【書く】</p> <p>B: ワークシートに遊びのメモを書く。 メモをもとに、順序を表す言葉を使って適切に遊びの紹介カードを書く。 (ワークシート3Bを活用)</p> <p>A: メモをもとに ~ の観点に気を付け、1年生によく分かるように遊びの紹介カードを書く。 (ワークシート3Aを活用)</p> <p style="text-align: center;"><遊びのメモ・遊びの紹介カード> 書けない子への配慮 (ワークシート3Cを準備)</p>
	9 本時	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">いろいろな遊びについて、調べたことを友達に分かるように紹介し合おう。</p> <p>1 話し方や聞き方を工夫しよう。</p> <p>2 代表のペアの対話を聞く。 ・順序の言葉が入っていてよくわかるなあ。 ・絵を使って説明すると分かりやすいなあ。</p> <p>3 ペアで話し合う。</p> <p>4 友達のよいところや、自分が修正したいところを全体の場で話し合う。</p>	<p>【話す・聞く】</p> <p>B: 順序だてて話したり、調べた遊びについて友達の話の大事なことを落とさず聞いたりする。</p> <p>A: Bに加えて話を最後までよく聞いて、分かりにくいところは進んで質問している。</p>

	10	<p>1 自分で調べた遊びを、よく分かるように紹介する。</p> <p>遊び方がよく分かるように順序よく説明しよう。どんな順序で話せばよくわかってもらえるかな。</p> <p>今度はみんなで実際に遊びたいなあ。楽しく遊べるようにもっと工夫したいなあ。</p>	<p>【話す・聞く】</p> <p>B： 自分の調べた遊びについて伝えたいことを明確に分かりやすく話している。</p> <p>A： Bに加えて、図や絵などを効果的に取り入れてよく分かるように話している。</p> <p><行動観察，発表の様子・評価カード></p>
第四次	11 12	<p>1 紹介した中から、みんなでしたい遊びを選び、もっと楽しく遊ぶための工夫について話し合う。</p> <p>もっと遊び方を楽しくするために、遊ぶ場所や準備するもの、人数、遊び方のルールなどを工夫しよう。</p>	<p>【話す・聞く】</p> <p>B： 話題を明確にし、話題からそれないように話し合っている。(どんな遊びか、遊ぶ場所、準備するもの、人数、遊びのルール)</p> <p>A： Bに加えて、自分の考えを分かりやすく話し、友達の話は最後までよく聞いている。</p> <p><話し合い，行動観察></p>
第五次	13	<p>1 遊び方の工夫も入れて、実際にしてみたい遊びを紹介するための練習をする。</p> <p>実際にやって見せたり、図や絵を使って説明したりして、聞いている人がよく分かるように練習しよう。</p>	<p>【話す・聞く】</p> <p>B： 紹介の仕方について話し合い、分かりやすく紹介するために、説明の原稿を作ったり、提示する図や絵を書いたりして準備している。</p> <p>A： Bに加えて、役割分担をもとにどこを修正すればよいかを進んで考え、改善しようとしている。</p> <p><行動観察，発言></p>
	14 15	<p>1 1年生に遊び方を説明する。</p> <p>2 1年生と実際に遊んだ後、紹介の仕方が適切だったかどうかを振り返る。</p> <p>1年生によく分かるように説明ができたよ。絵を見せたりするとよく分かってもらえたよ。それに、順序よく言えたよ。</p>	<p>【話す・聞く】</p> <p>B： 聞いている人にわかりやすく遊び方の工夫を紹介している。また、工夫しているところに気をつけて聞いている。</p> <p>A： Bに加えて、進んでよく分かるように説明しようとしている。</p> <p><行動観察，評価カード></p> <p>【書く】</p> <p>B： 紹介の仕方が適切だったかどうかについて振り返り、評価カードに書く。</p> <p><行動観察，評価カード></p>

<第三次7・8時(本時)の指導案> いろいろなあそびについて話し合おう「せいかいのかくれんぼ」 指導の重点:「書く能力の育成」

- 1 目標 調べたことをもとに遊びのメモを作ったり, 学んだ説明の仕方を使って, メモをもとに遊びの紹介カードを書いたりすることができる。
- 2 学習指導過程

学習活動	児童の意識の流れ	支援活動()と評価活動()
<p>1 本時の学習課題を確かめる。</p> <p>2 自分の決めた遊びのメモを書く。 各自でメモを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの名前 ・ 国の名前 ・ 準備するもの ・ 遊ぶ場所 ・ 遊び方 <p>3 友達同士で確認し合う。</p> <p>4 メモをもとに, 遊びの紹介カードを書く。 書く時のコツ 遊びの順番で順序のことば 主語・述語 文末</p> <p>5 自分の遊びカードを見直す。</p>	<p>ならったことを生かして, 遊びの紹介カードをつくらう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">私は、「ミスターライオン」という遊びを紹介したいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">ぼくは、「どろぼうはだれ」という遊びを1年生に紹介して一緒に遊びたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">北アメリカのバズゲームを紹介して, 楽しく遊びたいな。</div> </div> <p>まずは, 遊びのメモをつくらう。</p> <p>メモを作る時は, 遊びの順番で書くとよく分かるのだったよ。遊びの順番に気をつけてメモを書こう。今までの「ハンター」や「プンタックウンブット」の遊びと同じように, 5つのことが必要だよ。忘れず書いていこう。</p> <p>友達に自分の書いた遊びメモをチェックしてもらおう。ちゃんと主語を分けて書いているかな?</p> <p>次は, 自分の書いたメモをもとに, 遊びの紹介カードを書こう。</p> <p>ハンターやプンタックウンブットのように, 遊び方がよくわかるように, 「書くときのコツ」を使って1年生にも分かりやすい遊びの紹介カードを作りたいな。</p> <p>次の時間は, 遊びの紹介カードをいろいろな友だちに紹介して, 1年生にもよくわかる遊びの紹介カードにしていこう。</p>	<p>本時は, 自分の紹介したい遊びのメモを作り, それをもとに遊びの紹介カードをつくる学習だということを確認する。</p> <p>遊びのメモは, 遊びの順番で書くことや, 誰がどうするなど, 主語・述語をはっきりさせることが大切であることを確認する。 あそびのメモを書くワークシート2を用意しておく。</p> <p>「ハンター」や「プンタックウンブット」の遊びメモも, 学習の際に作成しておき, 遊びの紹介メモ作りのためのヒントコーナーとして掲示しておく。 メモが書きにくい児童には, 友達のメモを参考にさせたり, 教師といっしょに考えさせたりする。</p> <p>ワークシートに, 書く時のコツとして読みの学習で学んだ項目について, 自分でチェックできるようにしておく。</p> <p>これまでの学習で学んできた表現の工夫(書く時のコツ)を遊びカードづくりのためのコーナーとして掲示しておく。</p> <p>個に合ったワークシート3A・3B・3Cを用意し, 遊びメモをもとに遊びの説明の文章を書かせる。C児に対しては, 穴空きのワークシート(3Cのワークシート)を用意し, 遊びメモと対応して書けるようにする。</p> <p>自分のメモをもとに, 順序だてて分かりやすく遊びの紹介カードを書くことができたか。 (ワークシート)</p> <p>「書くときのコツ」カードで自己評価させ, 自分の遊びカードを修正させて, 次時への意欲化を図る。</p>

<第三次 9時(本時)の指導案 いろいろなあそびについて話し合おう「せかいのかくれんぼ」> 指導の重点:「話す能力の育成」

1 目標 ペアで話し合うことにより、「せかいのかくれんぼ」で学習した表現方法の工夫や聞き方の工夫を学び合うことができる。

自分の調べた遊びについて順序だてて話したり、友達の話の大事なことを落とさずに聞いたりすることができる。

2 学習指導過程

学習活動	児童の意識の流れ	支援活動()と評価活動()
<p>1 本時の学習課題を確かめる。</p> <p>2 代表のペアの対話を視聴する。 (1) 代表のペアが発表する。 (2) 表現方法の工夫を取り入れているところや、聞き方を工夫しているところを話し合う。</p> <p>3 ペアで話し合う。 (1) ペアで交互に発表する。 (2) お互いに質問し合ったり、認め合ったりする。</p> <p>4 友達のよいところや、自分が修正したいところを全体の場で話し合う。 友達の表現方法や話し方・聞き方で学んだこと</p> <p>5 自分の原稿や話し方を振り返る。</p>	<p>いろいろな遊びについて調べたことを、友達や1年生に分かるように紹介し合おう。</p> <p>表現方法や話し方を工夫しよう。 大事なことを落とさずに聞こう。</p> <p>友達の対話を聞いて考えよう。</p> <p>表現の工夫 ・ 順序の言葉が入っているので、よく分かるなあ。 ・ 比べて書くと違いがよく分かるね。</p> <p>話し方・聞き方の工夫 ・ 絵を使って説明すると分かりやすいなあ。 ・ さんは、相手の顔を見て話しているよ。 ・ 聞き手がうなづきながら聞いているので、話しやすそうだなあ。</p> <p>私は、順序の言葉を上手にを使って話そう。</p> <p>ぼくは、1年生にもよく分かるようにはっきり話そう。</p> <p>・ 絵や図、順序の言葉を上手に使うと、相手に分かりやすいんだな。 ・ うなづきながら聞いたり、分からないところは質問したりするといいんだなあ。</p> <p>聞いている人によく分かってもらうために、もっと工夫するところはないか考えよう。</p>	<p>本時は、世界の遊びを伝えるための表現方法や話し方、聞き方を工夫する学習だということを確認する。 代表のペアの対話を視聴させることで、本時はどんな話し方や聞き方をすればいいのかが確認する。 友達の発表を聞き、表現の工夫を取り入れている箇所や、1年生によく分かるような上手な話し方をしているところを見つけるよう助言する。また、これまでの学習で、遊び方を紹介する観点や表現の工夫で学んできたことを掲示しておく。</p> <p>いろいろな人から学ぶため、相手を変えて説明し合うように助言する。 友達の説明で分かりにくいところがあれば、質問するよう助言する。 修正したいところがあれば、書き込んでもよいことを伝える。 自分の原稿をもとに、順序だてて分かりやすく発表することができたか。 (発表原稿・行動観察・ワークシート4) 評価カードを持たせ、表現の工夫や話し方、聞き方をお互いに評価できるようにする。 一年生との遊びのリーダーになって話すことを伝えることにより、文を修正して分かりやすく話そうとする意欲を高める。</p>

6 実践の具体と子どもの反応

第二次6時(本時案)の具体と子どもの反応 <読みの活動において>

本時は、前時までフィンランドのかくれんぼ「ハンター」とインドネシアの「プンタックウンブット」のそれぞれの遊びについて順序性を明確にしながらかみ取った後、それぞれの遊びの準備や遊び方について共通点や相違点を読み取る学習である。まず、順序の言葉と主語に目を付けながら、『おにがすること』などといった項目ごとに文カードを並べて表に整理した。その際、インドネシアの遊びの前半はフィンランドのかくれんぼと違うところを説明しているが、後半は、空欄になっていることから、「ハンターと同じように続けていきます。」の記述に目を向けさせ、空欄のところを考えさせた。その際、個に応じたワークシートを活用し、主語・述語に気をつけさせながら書く活動を行った。

【ハンターとプンタックウンブットを項目ごとに比較した表】

【ワークシート1A ハンターも本文からキーワードの言葉を選んで書いた子ども】

ここでは、表に整理し対比していくよさもとらえさせることができた。また、表をもとに遊び方の説明の順序を変えてみることで、順序性の大切さにも気付くことができた。さらに、ハンターの叙述をもとに、同じように考えてプンタックウンブットについてワークシートに書くことで、プンタックウンブットがハンターと同じように続けていくところを、再度書けなかったのは、読み手が遊び方について考えていくために省略している筆者の工夫であることに、気がついたようである。

第三次7・8時(本時案)の具体と子どもの反応 <書く活動>において

本時は、ハンターやプンタックウンブットの他にも面白い遊びを調べて、1年生に教えてあげようといった目的意識をもたせて行う学習である。いろいろな本から自分たちが紹介したい遊びを調べて『遊びのメモ』を作ったり、『遊びの紹介カード』を書いたりする活動を行っていく。

その際、ハンターやプンタックウンブットの読みの学習で学んだこと、

- 遊びの順番で書くこと
 - 順序を表す言葉を使うこと
 - 主語をはっきりさせること
 - 文の終わり方は丁寧なことばで書く
- を『書く時のコツ』として意識させて書く活動を行った。

【ワークシート2『遊びのメモ』】

